

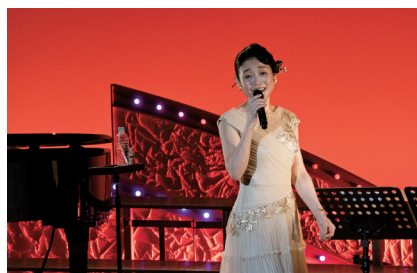
TOPICS

新しいかたちで楽しい体験を 津っぱく - season7 & ONLINE -



津久見ならではの魅力的な体験プログラムが楽しめる「津っぱく-season7&ONLINE-」が10月16日から11月28日の間、開催されました。マスクの着用・消毒・検温などのコロナ対策をしっかりと行った上で、過去最多の32プログラムを実施しました。プログラムの中には、おなじみのものづくり体験だけでなく、みかんの収穫体験など、秋ならではのプログラムが充実し、子どもから大人まで楽しんでいただくことができました。そして初のONLINE版の津っぱくも開催できました。次の「津っぱく-season8-」は、来年の春ごろに開催予定です。

津久見市制施行70周年記念事業 川野夏美コンサート



11月21日、津久見市制施行70周年を記念して津久見市出身の演歌歌手である川野夏美さんのコンサートが市民会館で開催されました。

ふるさと津久見でのコンサートは3年ぶり、地元の方々に向け、力強い歌声を披露されました。

コンサートの最後には津久見郷の実少年少女合唱団と一緒に「みかんの花咲く丘」を歌唱されました。

お仕事講演会



11月16日、第一中学校と第二中学校で日本航空(JAL)によるお仕事講演が開かれました。

講師は大阪市出身の森田絢子さんが務めました。

講演の中では客室乗務員のお仕事内容を詳しく紹介され、森田さんがお仕事をされる上で大切にしていることなどのお話があり、講演の最後には生徒によるたくさんの質問で盛り上がりしました。

交通安全表彰



11月16日、交通安全功労者等の表彰や交通安全標語コンクールの表彰を行う「津久見市交通安全大会」が市民会館で開催されました。

大会では、交通事故犠牲者への黙とうを始め、交通安全功労者、交通安全功労団体および優良運転者の表彰や交通安全標語コンクールの表彰を行い、各受賞者に表彰状や記念品が手渡されました。

惜しまれつつ、最後の子ども神楽



11月14日、下青江神社の秋のお祭で、子ども神楽と獅子舞が奉納されました。

子供神楽保存会は会員不足の影響により今回を最後に休止が決まっており、子どもたちは休止前最後の神楽を、心を込めて舞っている様子でした。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。

TOPICS

令和3年度大規模津波防災総合訓練



10月30日、津久見港をメイン会場に令和3年度大規模津波防災総合訓練が行われました。

訓練には指定行政機関、指定公共機関、地方行政機関等107機関が参加し南海トラフ巨大地震を想定した際の医療活動や住民避難、第二中学校の避難所運営など広域にわたる実動訓練を行いました。

海上保安庁の巡視船「やまくに」や国土交通省ヘリ「はるかぜ」、国土交通省排水ポンプ車等陸海空の機関が集結するなか、市内の消防団や市内企業の方々も力を発揮し活躍しました。

議員さんになりきって質疑



11月9日、10日の二日間、市内の小学校6年生を対象に議会体験学習会が開かれました。

子どもたちは実際の議場で議会体験をしたり、市長と面会し意見交換をするなど、普段できない体験をしました。

こころの成長のための特別授業 ～幸せになるために～



10月29日、第二中学校で自殺予防対策事業の一環で「メンタルヘルス講演会」を開催しました。テーマは「こころの成長のための特別授業～幸せになるために～」、講師は在宅支援クリニック えがおの山内勇人医師。ウルトラマンを例に分かりやすくお話し、生徒は「みんなそれぞれ違う」、「ストレスの付き合い方がわかった」などの感想がありました。

津久見市スポーツ協会激励会 株式会社戸高鉱業社野球部



第25回西日本軟式野球選手権大会への出場に先駆け、株式会社戸高鉱業社野球部の選手たちが10月26日、市役所を訪れました。

主将の新名直柔さんは「コロナ禍でも試合を開催してもらえることを感謝してがんばりたい。」と決意表明をされました。(大会は終了しました。)

第18回つくみんカップ ミニサッカー大会



10月23日、総合運動公園多目的グラウンドで第18回つくみんカップミニサッカー大会が開催されました。

市内4つの保育園・幼稚園から参加した園児たちが、元気いっぱい走り回ってボールを追いかけていました。